

普通徴収切替理由書

○普通徴収とする場合、個人別明細書の摘要欄に該当する符号（普A～F）を記載してください。
 ○この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。

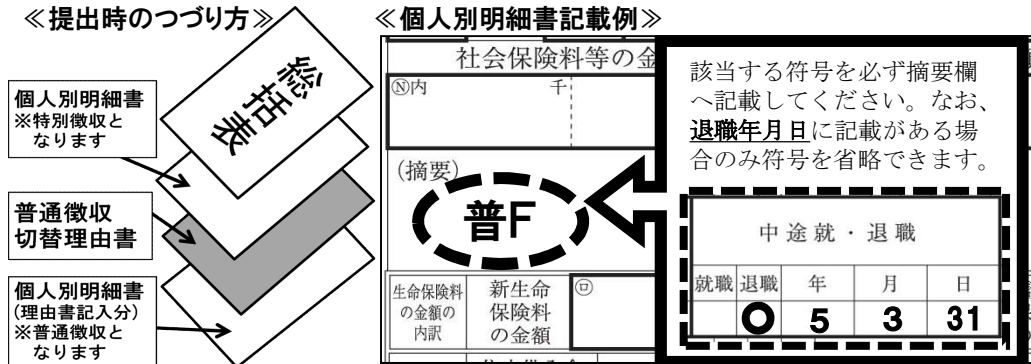
市区町村名	特別徴収義務者 指定番号
事業所名	

普通徴収切替理由	符号	対象者
総従業員数が2人以下（他市区町村を含んだ「普B～F」に該当する全ての従業員数を差し引いた人数）	普A	人
他の事業所で特別徴収（例：乙欄適用者）	普B	人
給与が少なく税額が引けない（例：年間の給与支給額が100万円以下）	普C	人
給与の支払が不定期（例：給与の支払が毎月でない）	普D	人
事業専従者（個人事業主のみ対象）	普E	人
退職者又は退職予定者（5月末日まで）及び休職者	普F	人
合計（総括表報告人員の「普通徴収人員」と同数）		人

【普通徴収切替理由書の記入提出要領】

- この普通徴収切替理由書は、当面、普通徴収を認める基準（普A～F）を示すものです。
- 当面、普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する方がいる場合は、該当する理由の右側「対象者」欄に人員を記載し、給与支払報告書と併せて提出してください。
- 特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がいる場合は、仕切紙として普通徴収の方の個人明細書の上に挿入し、総括表や他の個人別明細書と合冊して提出してください。
- 普Bは、2か所以上から給与の支払いを受けているため、年末調整の対象とならなかった方で普通徴収を希望する方が対象となります。
- eLTAX等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力してください。また、摘要欄に該当する普通徴収切替理由の符号（普A～普F）を入力願います。（※普通徴収切替理由書の添付は不要です。）

《提出時のつづり方》



《個人別明細書記載例》

社会保険料等の金

⑨内 千

(摘要)

普F

中途就・退職

就職	退職	年	月	日
	○	5	3	31

生命保険料の金額の内訳

新生命保険料の金額

⑩

普通徴収切替理由書

○普通徴収とする場合、個人別明細書の摘要欄に該当する符号（普A～F）を記載してください。
 ○この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。

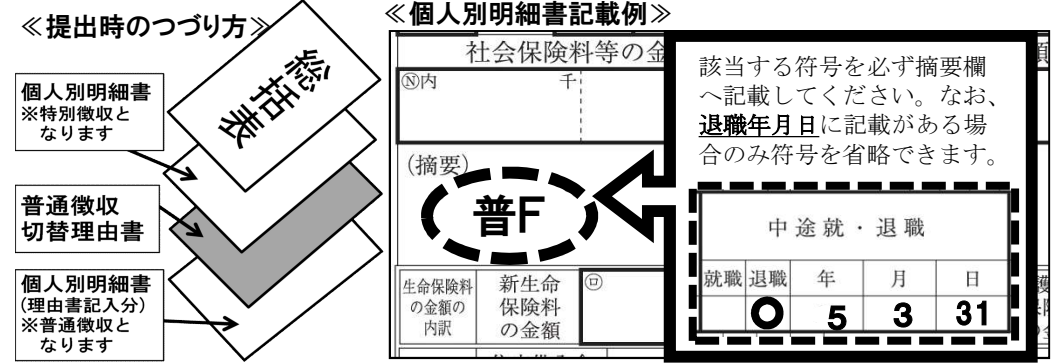
市区町村名	特別徴収義務者 指定番号
事業所名	

普通徴収切替理由	符号	人数
総従業員数が2人以下（他市区町村を含んだ「普B～F」に該当する全ての従業員数を差し引いた人数）	普A	人
他の事業所で特別徴収（例：乙欄適用者）	普B	人
給与が少なく税額が引けない（例：年間の給与支給額が100万円以下）	普C	人
給与の支払が不定期（例：給与の支払が毎月でない）	普D	人
事業専従者（個人事業主のみ対象）	普E	人
退職者又は退職予定者（5月末日まで）及び休職者	普F	人
合計（総括表報告人員の「普通徴収人員」と同数）		人

【普通徴収切替理由書の記入提出要領】

- この普通徴収切替理由書は、当面、普通徴収を認める基準（普A～F）を示すものです。
- 当面、普通徴収を認める基準に該当し、かつ普通徴収を希望する方がいる場合は、該当する理由の右側「対象者」欄に、人員を記載し、給与支払報告書と併せて提出してください。
- 特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がいる場合は、仕切紙として普通徴収の方の個人明細書の上に挿入し、総括表や他の個人別明細書と合冊して提出してください。
- 普Bは、2か所以上から給与の支払いを受けているため、年末調整の対象とならなかった方で普通徴収を希望する方が対象となります。
- eLTAX等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力してください。また、摘要欄に該当する普通徴収切替理由の符号（普A～普F）を入力願います。（※普通徴収切替理由書の添付は不要です。）

《提出時のつづり方》



《個人別明細書記載例》

社会保険料等の金

⑨内 千

(摘要)

普F

中途就・退職

就職	退職	年	月	日
	○	5	3	31

生命保険料の金額の内訳

新生命保険料の金額

⑩

該当する符号を必ず摘要欄へ記載してください。なお、**退職年月日**に記載がある場合のみ符号を省略できます。